

$\Delta x \rightarrow 0$ と考えると

$$F = -\frac{\epsilon_0 \sigma V^2}{2d} \frac{A}{(1+A\alpha)^2}$$

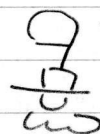
よって不安定となる

$A > 0$ より $F < 0$

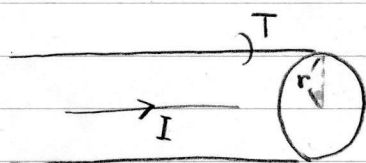
よって誘電体にはコンデンサに引き込まれる方向に力が働き

その大きさは

$$|F| = \frac{\epsilon_0 \sigma V^2}{2d} \frac{\frac{(1-\frac{\epsilon}{\epsilon_0})^2}{1-(1-\frac{\epsilon}{\epsilon_0})^2}}{\left[1 + \left\{\frac{(1-\frac{\epsilon}{\epsilon_0})^2}{1-(1-\frac{\epsilon}{\epsilon_0})^2}\right\} \alpha\right]^2}$$



2.1



左図のような円線に許容電流が流れている状態を考える
円線と外皮の温度差は一定値 T とする

単位長あたりで、単位時間に

発生するジュール熱は $\frac{\rho}{\pi r^2} I^2$ (ρ : 抵抗率)

外皮に逃げた熱は $\sigma T \times 2\pi r$ (σ : 円線の被覆? の性質による比例定数)

これが平衡状態にあると考えられるので

$$\frac{\rho}{\pi r^2} I^2 = 2\pi \sigma T r$$

$$I^2 = \frac{2\pi^2 \sigma T}{\rho} r^3$$

$$I = \sqrt{\frac{2\pi^2 \sigma T}{\rho}} r^{3/2}$$

$$= \sqrt{\frac{2\pi^2 \sigma T}{\rho}} (2r)^{3/2} \frac{1}{2^{3/2}}$$

$$= \frac{1}{2} \sqrt{\frac{\pi^2 \sigma T}{\rho}} (2r)^{3/2}$$

よって許容電流は円線の直径の $3/2$ 乗に比例する